



彩の国
埼玉県

令和4年度埼玉県学力・学習状況調査報告書

〔 令 和 4 年 5 月 実 施 〕

～子供たち一人一人のよさを伸ばし、よさを活かす～

令 和 5 年 1 月
埼玉県教育委員会

はじめに

埼玉県学力・学習状況調査は、「学習したことがしっかりと身に付いているか」という従来の調査の視点に、「児童生徒一人一人の学力がどれだけ伸びているのか」という新たな視点を加えた自治体初の調査として実施して本年度8回目となりました。

8月下旬に各実施校に返却した調査結果には、児童生徒の取組の成果が表れております。児童生徒には、本調査を通して現在の学力を知るだけでなく、「この1年間でどれだけ伸びたか」「過去複数年の自分と比べてどれだけ変容したか」などを実感し、自信を深めることを大切にしてほしいと考えています。

各学校においては、調査結果のデータから、学力等の伸びの状況を把握し、大きな伸びが見られた学級や教科の担当者からの聞き取りや授業参観を行い、効果的な実践を共有していただきたいと思います。また、児童生徒の学力や学習方略、非認知能力などの状況を把握し、一人一人をより一層伸ばすための指導・支援について教職員で話し合うなど、積極的に活用していただきたいと思います。

本報告書では、調査についての詳細や、結果の活用方法の例、これまでの実施状況から見えてきたこと、今年度の調査結果分析による指導のポイントなどを、分かりやすくまとめています。本報告書を、授業改善等を進める際の参考資料として御活用ください。なお、本報告書は、PDFデータで埼玉県教育委員会ホームページにも掲載しますので、是非、多くの先生方に活用していただきたいと思います。

県では、平成30年度から市町村の研修会等で本調査の特長や具体的な結果データの活用方法を説明する取組なども継続して行っています。今後も市町村・学校との一層の連携・協働による重層的な支援として、「①総合的な支援（本調査の分析結果の普及や効果的な取組の共有）」と「②重点的な支援（伸び悩みを抱える市町村や学校への訪問支援等）」に取り組み、学力向上に関わる様々な関係者の学力向上PDCAサイクルの質がさらに高まるよう働きかけてまいります。

県では、令和6年度からの埼玉県学力・学習状況調査の全面CBT化を目指し、本年度は5市町の小学校11校・中学校7校の協力でCBT化に向けて調査等に取り組んでまいりました。協力いただいた学校からは、「紙の調査以上に児童生徒が集中しているように見えた」「資材管理の負担がなくなった」といった声をいただいております。CBTの主なメリットとして、問題の正誤の状況に加えて解答時間を把握・分析することで、児童生徒のつまづきを把握することが可能になり、個別指導の一助になると考えております。

来年度は、一部の市町村が本調査をCBTで実施することになります。円滑にCBTへ移行することで、児童生徒一人一人の学力と学習意欲を確実に伸ばす教育を引き続き推進してまいります。

今後とも、御理解・御協力をお願いいたします。

令和5年1月

埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課長

渡辺 洋平

令和4年度 埼玉県学力・学習状況調査グランドデザイン

埼玉県学力学習状況調査

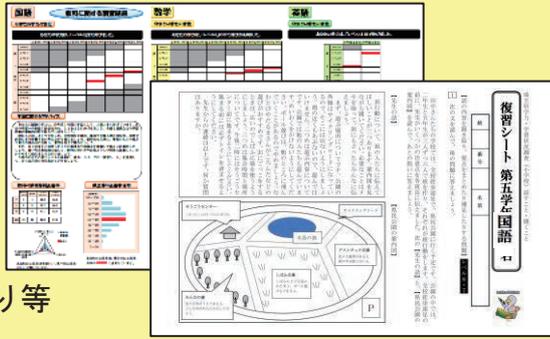


一人一人の学力を確実に
伸ばす教育の推進

子供たち、家庭の取組

伸びの実感

- ・ 個人結果票
- ・ 復習シート
- ・ コバトン問題集
- ・ 面談、懇談会、学校だより等



「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

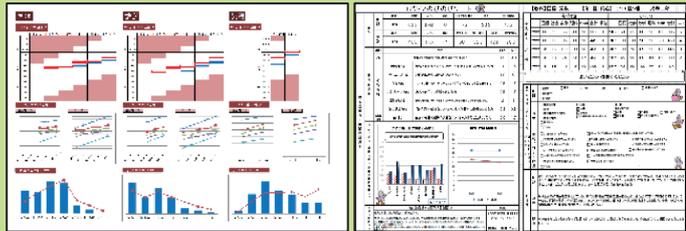
学習方略や非認知能力の向上

市町村、学校の取組

校内研修等で良い取組の共有

児童生徒を多角的に把握

- ・ 各結果帳票
- ・ 県学調調査報告書
- ・ コバトンのびのびシート
- ・ 学力・学習状況調査の活用

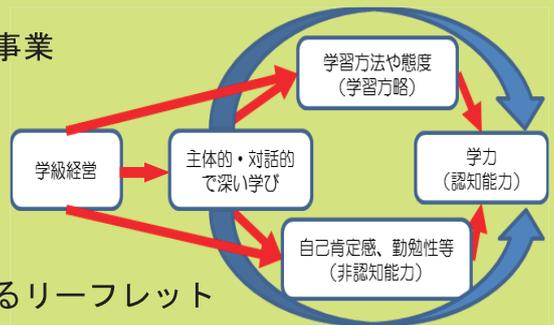


県の取組

学力を大きく伸ばした良い取組の発信

結果の活用方法等の共有

- ・ 学力向上推進協議会
- ・ 「未来を生き抜く人財育成」学力保障スクラム事業
- ・ 学力向上研究校指定事業
- ・ 学力向上プロジェクト教員
- ・ 重点支援
- ・ 良い授業を見つけ！広めて！学力UP事業
- ・ AIを活用した学びの実践研究事業
- ・ 「まずは、この帳票から！」等の分析を支援するリーフレット
- ・ 埼玉県学力・学習状況調査報告書
- ・ 埼玉県学力・学習状況調査の活用方法等の説明
- ・ CBT化に向けた試行・実証
- ・ CBT化に向けた予備調査・プレ調査の実施
- ・ 非認知能力育成実証研究



調査から見えてくる！
学力 学力の伸び
経年での成長 意欲・態度
学習方略 非認知能力

埼玉県学力学習状況調査



埼玉県学力・学習状況調査

目 次

はじめに

令和4年度 埼玉県学力・学習状況調査グランドデザイン

第1章 調査の概要

1	調査の概要	2
2	学力の経年変化（伸び）を見る調査の設計	4
3	埼玉県学力・学習状況調査の分析から分かったこと（概要）	8
4	調査に関するQ&A	9

第2章 調査結果の概要

1	「学力の伸び」の状況	14
2	参考資料 ①児童生徒質問紙の項目変更について	18
	②学習方略や非認知能力の質問項目	19

第3章 調査結果の活用

1	個人結果票について	22
2	調査結果の分析・活用について①（学校担当者用）	26
3	調査結果の分析・活用について②（学級担任用）	34
4	まずは、この帳票から！	37
5	埼玉県学力・学習状況調査を活用した実践事例	38

第4章 特徴的な学校の取組の紹介

1	上尾市立平方北小学校	40
2	越生町立梅園小学校	42
3	神川町立青柳小学校	44
4	杉戸町立泉小学校	46
5	桶川市立桶川東中学校	48
6	川越市立城南中学校	50
7	深谷市立川本中学校	52
8	春日部市立葛飾中学校	54

第5章 学習指導のポイント

1	国語	58
2	算数・数学	70
3	英語	82

第6章 質問紙調査結果から見られる傾向

1	「教師との関係」と「自分に対する考え」分析と傾向	88
2	「学級の雰囲気」と「学習の様子」分析と傾向	90
3	「自己認識」と「各教科の学力」分析と傾向	92
4	「主体的・対話的で深い学び」と「各教科の学力」分析と傾向	94
5	その他～コロナ禍の学校生活の様子から～	97

第7章 今後の県学調～CBT化に向けた取組～

○	今後の埼玉県学力・学習状況調査	100
---	-----------------	-----